

製本のススメ

Vol. 131

連日 地震の報道です。現地の方々は大変なご苦勞をされていることでしょう。何かの役に立ちたいと、僅かばかりながら募金をいたしました。毎日を何事もなく暮らしていけるのは、本当に有難いことです。

今回は**加工に必要なサイズ**の話し

製本会社の設備にもよりますが、加工可能な大きさがあります。基本的にはA4からB6までは、どんな製本機械でも可能ですので心配はいりませんが、A4横長以上の大きなサイズとA6以下のサイズは、注意が必要です。**製本機械の仕組みや大きさによって、加工できない場合があります。**もっとも大きなサイズは、みるからに加工機械に入らなさそうとわかりますが、小さいものは判りづらいですね。

基本的に、断裁機は10cm程度までの大きさなら切る事ができます。それより小さいと付属部品をはずすなどの工夫が要りますので、すぐには断裁加工に進めません。

折り機械はA版16切(A5より少し大きい)からの二つ折りまで。つまりA6サイズよりも少し大きめです(トンボを印刷できる程度) **ただしチラシ等のように折るだけで良いものならばA6規格サイズになります。**折から後の加工がある場合には紙のサイズを大きくしてください。

表紙ケミ機械(バインダー)に至っては、**B6以下の本に表紙を付けることは(基本的に)できません。**小さい本を作るときには、加工会社の設備に合わせた用紙サイズが必要であり、またそれに適した版付けでなくてははいけません。1面で面付けならばよいですが、多面付けの際には十分に余白を取っておく必要もあり、加工会社へ確認をされたほうがよいでしょう。

最近では、A6や幅の狭い新書版などサイズの小さいものが増えてきました。仕上がりサイズで用紙を計算すると、加工できない場合がありますので十分に注意して下さい



Tea break

少し前までヒトの脳は28歳がピークと言われました。しかし研究を進めるとそのピークは50年以上も後の方であることが判明。生まれてから13歳までは感性記憶力そして28歳までは単純記憶力の最盛期で、脳はがむしゃらに世の中を知ろうと働きます。勉強も恋愛も仕事も、あらゆることを覚えられる絶好機だとか。たしかに新しいことを覚えるには28歳くらいまでがよさそうです。しかし、世の中を知るだけでは楽しくない!ヒトの脳は、ここからが素晴らしいのです。まだまだ進化するヒトの脳みそ 続きは132号にて~

弊社HPは www.isekiseihon.com

facebookは「井関製本の日々」

by (株) 井関製本